

## 児童家庭支援センター こども家庭相談室 令和5年度 事業報告

地域における家庭支援（産後ケア事業、ショートステイ、ホームスタート、子育てサロン等）のさらなる充実を図り、地域の子育て支援の拠点を目指すために相談援助技術の質の向上を図り、法人内各施設と連携し支援を充実させた。また、親の子育ての悩みや不安の解消につながるよう、「ほめて育てるコミュニケーショントレーニング講座」や「アンガーマネージメントキッズ講座」を定期的に実施した。

### I 中・長期計画に基づく事項

#### 1 児童に関する家庭その他からの相談援助

##### (1) 援助計画の策定

課題：

- ・継続支援を必要とするケースに関して、アセスメントに基づく支援計画の策定及びそれに基づく相談援助の実施が十分ではない。
- ・職員数が少ないことから、多角的なアセスメントが実施できていない。

目標：

- ・継続的な支援が必要な場合は、アセスメントを実施し、相談内容の重要課題を明確にしたうえで、支援計画票により、問題点の把握、支援目標、支援方法を明確にし、計画に基づく相談を行うよう努める。また、支援計画は適宜見直しを行う。
- ・多角的なアセスメントを実施するため、体制を構築する。また、効果的なアセスメントを行うため、インテークの質の向上に努める。

評価：

- ・継続を必要とするケースの数が少なく、支援計画を立案する機会が少なかったが、ケースカンファレンスを通じて検討し計画立案をした。

##### (2) 職員の人材育成

課題：

- ・職員の相談援助技術に向上の余地がある。
- ・職員の人数が少ないこともあり、日常的にSVを受けられる体制が整っていない。

目標：

- ・相談援助技術について、Off-JT（職場外研修）およびOJT（職場内研修）の双方を活用しスキル向上に努める。適宜ケース検討を行い、多角的な視点を獲得の機会を設ける。
- ・職員相互が評価し、助言しあいながら、援助技術の向上を目指す。
- ・管理職等にいつでも相談できる体制を確立する。

評価：

- ・ケースカンファレンスを実施し、多角的な視点を得る機会を設けた。管理職者や社労士等への相談の機会をつくり相談できる体制を作ることができた。

### (3) 相談機会等の充実

課題：

- ・地域における児童家庭支援センターこども家庭相談室に対する理解が不十分である。
- ・相談件数が減少傾向にある。

目標：

- ・SNS 等を使って広報活動を行い、多くの方に理解が得られるよう努める。適宜子育てサロンを開催し、地域の子育て世代への周知を図る。
- ・親の子育て支援である「ほめて育てるコミュニケーショントレーニング講座」の実施、就学前児童を対象に「アンガーマネジメントキッズ講座」を実施するなどして地域の子育て支援機能を高める。

評価：

- ・SNS での発信を積極的に行った。ほめトレ、アンガーマネジメントキッズ講座等を計画的に実施した。

## 2 児童相談所・市町村との連携及び地域における児童・家庭への支援

### (1) 児童相談所の補完的役割

課題：

- ・児童相談所の補完的役割を担うために、指導委託を受けられる枠組みがあるが、実際に機能させる体制が十分ではない。
- ・児童相談所からの指導委託の受託がない

目標：

- ・児童相談所の補完的役割を担うための体制づくりをする
- ・児童相談所からの指導委託に結びつくよう、定期的な会議等を開催し連携を図る。

評価：

- ・年3回の会議を実施した。児童相談所からの指導委託を2件受託した。

### (2) 関係機関との連携

課題：

- ・関係機関との連携を継続させ、センター機能を知ってもらう必要がある。
- ・地域における家庭支援のニーズを把握し機能を強化しなければならない。

目標：

- ・要保護児童対策地域協議会の各種会議や児童相談所との定例会議への参加を継続する。
- ・相談内容の多様化に対応するため、関係機関の対象範囲を拡大するよう努める。

- ・関係機関と連携を図り、地域の家庭支援ニーズを把握し支援の充実を図る。

評価：

- ・太田市子育てそらだん課や太田市保健センター等との連携を図った。子育て短期支援事業、ホームスタート、産後ケア等を実施する中で地域の家庭支援ニーズの把握に努めた。

### **(3) 要保護・要支援児童への対応及び施設児童の親子関係再構築支援・アフターケア**

課題：

- ・要保護・要支援児童への具体的な支援方法がない。
- ・施設児童の親子関係再構築支援・アフターケアの方法を模索する。

目標：

- ・具体的な親支援の実施について、その可能性を模索する。法人内他施設の経験豊富な複数の職員の参画を得ながら、親支援の具体的な取組を実施する体制を構築する。
- ・施設を退所し今後家庭で生活する児童とその親に対し、親子の関係性を見極め、出来るだけ変化を緩やかにし、家庭復帰後も親子からの相談を受け、寄り添っていけるような支援を行うよう努める。
- ・法人内各施設においてそれぞれ受け入れているショートステイを、効率化や地域・ニーズの把握につなげるため、こども家庭相談室で一元化する。

評価：

- ・太田市からのショートステイ受入れを法人窓口として円滑に受け入れられるように調整を行った。
- ・本体施設の会議に参加し、施設を退所した児童やその親に対して児童相談所と家庭訪問を実施するなどアフターケアを行った。

### **(4) ホームスタート・おおたの運営**

課題：

- ・ボランティアとして活動する人材を増やし育成する必要がある
- ・コロナ禍の影響もあり利用者が減少している

目標：

- ・ボランティア養成講座を実施し、増員を目指す
- ・積極的に広報活動を行い利用者を増やす。

評価：

- ・ボランティア養成講座を希望者が少なかったため開催できず増員することができなかった。
- ・SNS の発信を行いホームスタートの周知をした。次年度以降、太田市外の市町村保健センターとの連携を図り利用者を増やしていく必要がある。

### 3 里親・ファミリーホームへの支援

#### (1) 里親支援機関との連携

課題：

- ・里親支援について児童家庭支援センターの役割について考える必要がある
- ・東光乳児院で群馬県から受託している里親リクルート事業の活動を把握し連携する必要がある

目標：

- ・群馬県が実施する里親フォスタリング検討会に参画し、児童家庭支援センターとしての役割を模索する。
- ・里親リクルート事業へ参画し、里親支援機関として機能を果たすための役割を考える

評価：

- ・群馬県において里親フォスタリング検討会が実施されなかった参画できなかった。
- ・里親支援について模索する機会を作ることができなかった。里親さんに必要な支援ニーズの把握に努める必要があるため次年度以降、児童相談所、里親会と連携していく。

## II 職員配置

センター長 1 名、副センター長 1 名、相談員 4 名（常勤 2 名、非常勤 2 名）、  
心理担当職員 1 名（非常勤 1 名）

## III 会議

定例会議 月 1 回

ケース会議 月 1 回

心理担当者会議 月 1 回（児童養護施設東光虹の家の会議への参加）

ソーシャルワーク会議 月 1 回（児童養護施設東光虹の家の会議への参加）

ホームスタート定例会議 月 1 回

## IV 関係機関との会議

児童相談所との定例会議 年 3 回

要保護児童対策地域協議会代表者会議 年 1 回

要保護児童対策地域協議会実務者会議 年 6 回

## V 年間の行事報告

相談実績については、別紙 1「令和 5 年度 児童家庭支援センターこども家庭相談室運営事業実績報告書」のとおり

年間の行事、研修等に関する実施状況は、別紙 2「令和 5 年度 児童家庭支援センターこども家庭相談室 行事实績」のとおり

1 相談・指導実績

(1) 月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理	61	34	46	30	33	35	28	23	18	24	18	21	371
継続相談	0	34	56	64	48	58	63	69	57	58	67	63	637
計	61	68	102	94	81	93	91	92	75	82	85	84	1008

(注) 実人数は、新規及び継続で相談を受け付けた人数とする。

(2) 月別相談延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	54	64	91	92	85	91	69	73	84	79	59	66	907
来所相談	13	56	30	28	34	24	53	23	24	20	66	64	435
訪問指導	18	18	40	66	44	46	58	64	24	18	20	40	456
通所指導	9	5	6	8	6	7	7	11	5	10	11	9	94
心理療法等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メール相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	17	27	34	13	13	16	18	13	15	10	10	8	194
延べ件数	111	170	201	207	182	184	205	184	152	137	166	188	2087

(注1) 延べ人数は新規及び継続で相談を受け付けた総件数とする。

相談の実態に合わせて件数を計上すること。

(例：来所相談の場合であっても心理療法を行えば、心理療法等に計上する。)

(注2) 訪問相談の延べ人数は、実際の相談件数に2を乗じて得た数とする。

2 児童相談所からの受託による指導

(1) 対応延べ件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4

(注) 対応延べ件数にはその委託に係る全ての対応を含める。

実件数は委託を受けた件数である。

実件数
4

3 地域支援事業・子育て支援事業等

事業名	実施回数	参加者数	内容
令和5年度 子育て支援事業 「親子でリトミック -音で育む心とからだ-」	1回	30名 (内訳として 大人15名、こ ども15名、12 組の親子)	外部講師をお招きし就学前までに 親子を対象とし、「親子で楽しく リトミック」を企画した。 親子で触れ合いながら、音楽に合 わせて体を動かしたり、歌を一緒 に歌ったりと楽しい時間を過ごす ことができた。

ほめトレ講座 幼児・学童編	年間で5回	年間を通して 19名受講	ほめトレ講座幼児期を開催。2時間を3日間行い、託児も申込制で対応した。
アンガーマネジメント キッズ講座  幼児版は4.5歳、小学生低学年版1.2年生を対象に開催	幼児体験版・ 小学生低学年 体験版 年に各4回  幼児本格版・ 小学生低学年 年本格版 年に各2回	年間を通じて 20名受講	アンガーマネジメントキッズ講座体験版とし、幼児版（4.5歳）と小学生低学年版（1.2年生）に分け、講座を行った。 Zoomを活用し、受講している様子は待機室で待つ保護者に見学して頂けるよう配慮を行った。 また、体験版を受講された方限定で本格版をご案内し、テキストを用いた講座を開催した。 受講後は保護者へ個別にフィードバックを行い、受講時の様子を伝えた。
セカンドステップ	1回	2名	未就学児を対象にセカンドステップを行った。アンガーマネジメントキッズ講座と同様にZoomを活用し、受講している様子は待合室で待つ保護者に見学して頂けるよう配慮を行った。 受講後は保護者へ個別にフィードバックを行い、受講時の様子を伝えた。

#### 4 他機関との連携（会議等）

会議の名称等	実施回数	会議等の概要
東部児童相談所との 定例会議	3回	事業報告、状況報告、相談者のケース報告と検討、情報交換等
太田市要保護児童対策 地域協議会会議	7回	代表者会議1回、実務者会議6回 実施、ケース検討・情報交換

#### 5 その他

実施内容	実施回数	参加者数	内容
子育てサロン そざい LABO ちょこ LABO そと LABO	月に各サロン を1回（全体 で月3回）	年間を通じて 72名 （内訳として 大人33名、こ ども39名、33 組の親子）	そざい LABO では、1歳半から3歳を対象に身近にある素材を用いて造形遊びを実施した。 ちょこ LABO では、0歳から1歳半を対象に感触遊びを中心に実施した。 そと LABO では、0歳から3歳を

			対象に虹公園を利用し、季節に合わせた遊び等を実施した。
開放日 にこぼかルーム	週 1 回	年間を通して 3 名 (内訳として 大人 3 名、こ ども 4 名、3 組の親子)	今年度より開放日を設定、出入り自由、予約不要で開催した。 児童館の定休日に設定し、遊び場を求めて来られる方がいた。
ホームスタート事業			今年度はオーガナイザー3名で運営を行った。 今年度の利用家庭数は昨年度より増加し18件となった。

月	日	法人行事等	日	センター行事等	担当者	研修			実習			
						日	研修名	主催	出席者	日	学校名	人数(名)
4	1	辞令交付	7 7 15 18 19 24 29	職員定例会議、ケース会議 太田市こども課訪問 避難訓練 子育てサロンたんぼぼ 太市内保育園広報活動 太市内幼稚園広報活動 セカンドステップ		28	太田市要保護児童対策地域協議会代表者会議	太田市要保護児童対策地域協議会代表者会議	本間正			
5	22 25 29	法人監事監査 第1回理事会 第三者委員への苦情解決報告会	10 6.13 12.19.2 6	職員定例会議、ケース会議 セカンドステップ ほめて育てるコミュニケーショントレーニング講座		18 26.27 29	太田市要保護児童対策地域協議会実務者会議 ホームスタート全国OG&TR交流会研修会・総会 関東地区児童家庭支援センター協議会総会	太田市要保護児童対策地域協議会 ホームスタートジャパン 関東地区児童家庭支援センター協議会	本間(正)・河村 河村 本間(正)			
6	10 17 17 28	合同避難訓練 第1回評議員会 第2回理事会 全体会議	7 10 16 20 23 25 30	職員定例会議、ケース会議 合同避難訓練 東部児童相談所との第1回定例会議 子育てサロンたんぼぼ アンガーマネジメントキッズ講座 館林市・板倉町・千代田町・明和町幼								
7	1 1	広報誌発行 ホームページ更新	3.10.24 4.11.18.25 5 7.8 7.14.21 15 20	にこぼかルーム 子育てサロン 職員定例会議、ケース会議 ホームスタート養成講座説明会 ほめて育てるコミュニケーショントレーニング講座 避難訓練 ホームスタートミニ勉強会		8.9 19 21	ホームスタート関東エリア交流研修会・総会 太田市要保護児童対策地域協議会実務者会議 全国児童家庭支援センター協議会実務者会議	ホームスタートジャパン 太田市要保護児童対策地域協議会 全国児童家庭支援センター協議会	川島 本間(正)・河村 河村・川島			
8			2 5.12.26 19 24 8.22.29 7.21.28 5.12.26 31	職員定例会議、ケース会議 アンガーマネジメントキッズ講座 避難訓練 桐生市・みどり市幼稚園広報活動 子育てサロン にこぼかルーム アンガーマネジメントキッズ講座 太田市内小・中学校広報活動								
9			6 4.11.25 5.12.19.26 9 16	職員定例会議、ケース会議 にこぼかルーム 子育てサロン アンガーマネジメントキッズ講座 避難訓練		20	太田市要保護児童対策地域協議会実務者会議	太田市要保護児童対策地域協議会	本間(正)・河村			
10			4 10.17.31 13 15 16.23.30 20.27	職員定例会議、ケース会議 子育てサロン 伊勢崎市広報活動 避難訓練 にこぼかルーム ほめて育てるコミュニケーショントレーニング講座		13.1 4 25	全国児童家庭支援センター協議会全国大会 関東地区児童家庭支援センター協議会SW研修	全国児童家庭支援センター協議会 関東地区児童家庭支援センター協議会	本間(正) 本間(正)・河村			
11	14	第3回理事会	1 6.13.20.27 7.14.21 10 13 15 17 18	職員定例会議、ケース会議 にこぼかルーム 子育てサロン ほめて育てるコミュニケーショントレーニング講座 ホームスタート運営委員会 東部児童相談所との第2回定例会議 ホームビジター交流会 避難訓練		16	太田市要保護児童対策地域協議会実務者会議	太田市要保護児童対策地域協議会	本間(正)・河村			
12	14	全体会議	6 4.11.18 5.12.19 16	職員定例会議、ケース会議 にこぼかルーム 子育てサロン 避難訓練								
1	1 15	広報誌発行 新年挨拶会	9.12.18.23 10 14 29 16.23.30 22.29 26	太田市内児童館・行政センター・支援センター広報活動 職員定例会議、ケース会議 避難訓練 ホームスタートミニ勉強会 子育てサロン にこぼかルーム ほめて育てるコミュニケーション		17	太田市要保護児童対策地域協議会実務者会議	太田市要保護児童対策地域協議会	本間(正)・河村			
2			7 2.9 5.19.2 10.24 10.20.2 7 17 22	職員定例会議、ケース会議 ほめて育てるコミュニケーショントレーニング講座 にこぼかルーム アンガーマネジメントキッズ講座 子育てサロン 避難訓練 ホームスタート運営委員会								
3	8 16 24 31	全体会議 第4回理事会 第2回評議員会 辞令交付	1 2.9 4.11.18.25 6 8.15.22 12.19.26 16	東部児童相談所との第3回定例会議 アンガーマネジメントキッズ講座 にこぼかルーム 職員定例会議、ケース会議 ほめて育てるコミュニケーショントレーニング講座 子育てサロン 避難訓練		21	太田市要保護児童対策地域協議会実務者会議	太田市要保護児童対策地域協議会	本間(正)・河村			

【法人行事等】

月2回実施：運営会議  
 月1回実施：高機能化会議、多機能化会議、リスクマネジメント委員会、  
 情報公開検討委員会、研修体制検討委員会、権利擁護検討委員会、  
 アクションプラン2025検討委員会、事務委員会、人材確保検討委員会  
 適宜実施：個人情報管理委員会、納涼祭実行委員会

児童家庭支援センターこども家庭相談室その他の行事等  
 ・子育てサロン（毎月）  
 ・ほめて育てるコミュニケーショントレーニング講座（適宜）  
 ・アンガーマネジメントキッズ講座（適宜）